がん相談業務
（院内におけるピア・サポート）

相談記録シート集計報告

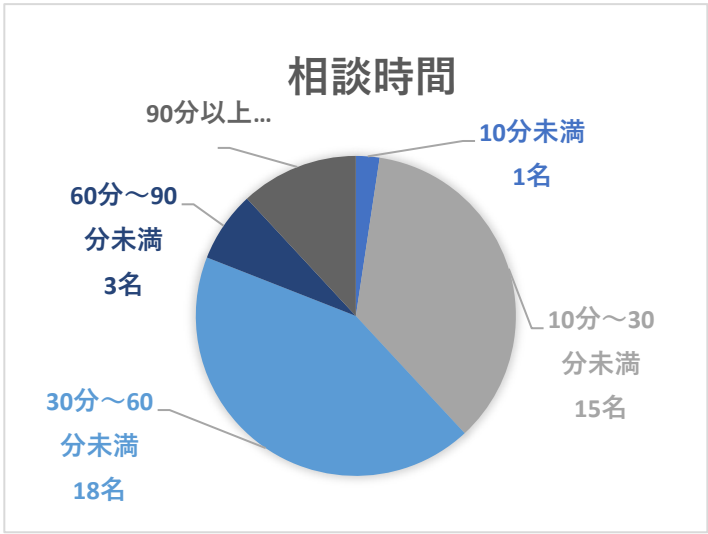
実施期間：令和6年4月1日～令和6年6月28日

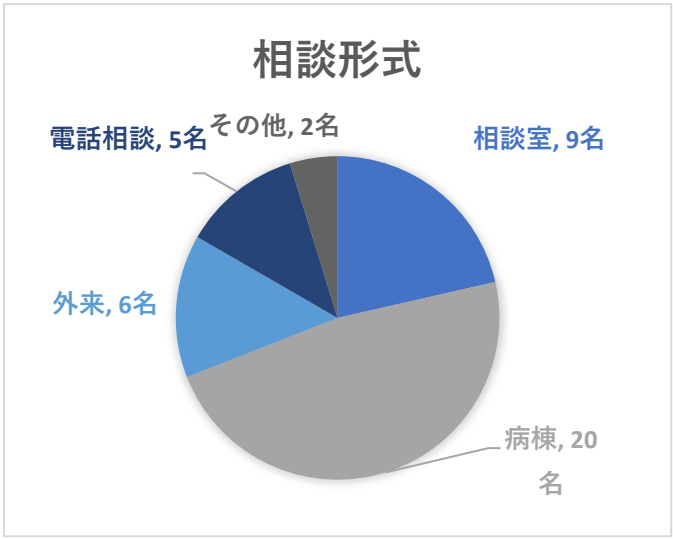
沖縄県地域統括相談支援センター

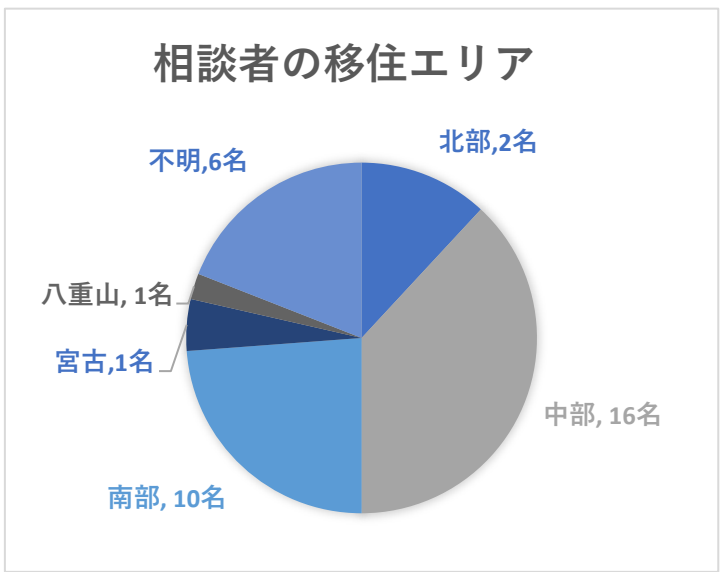
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

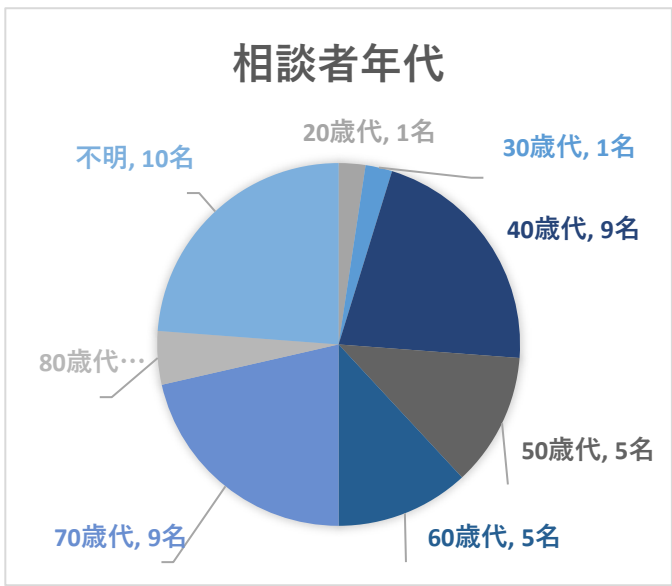
■ 調査対象期間　　令和6年4月1日～令和6年6月28日
■ 調査件数　　42件

相談月	件　数
1月	15
2月	10
3月	17
合　計	42

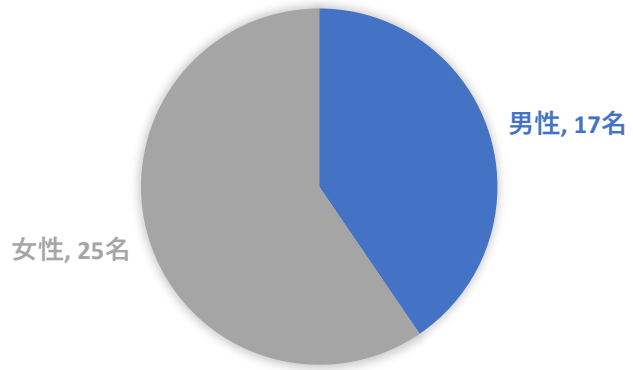




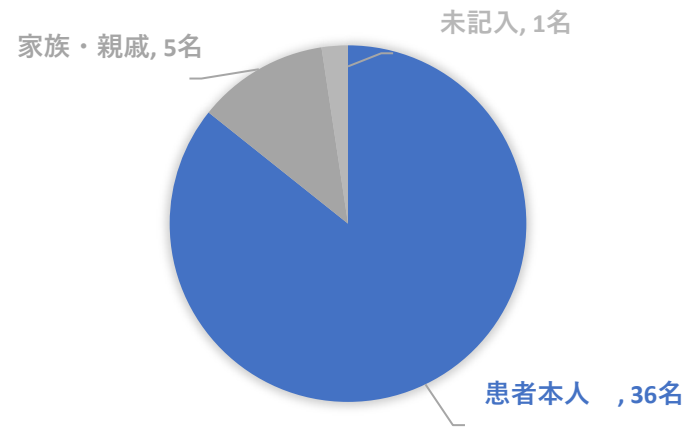




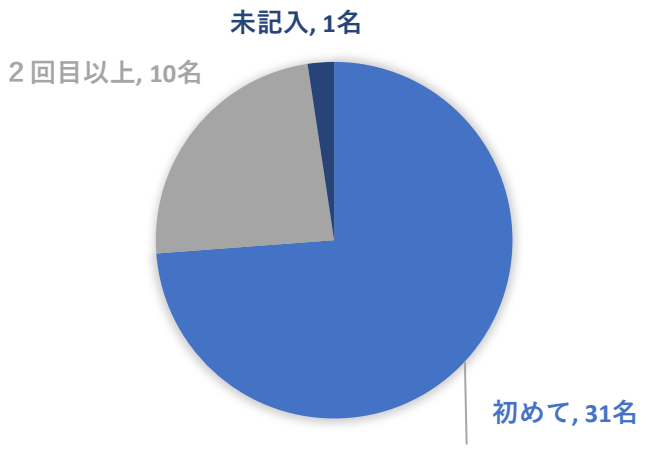
相談者の性別



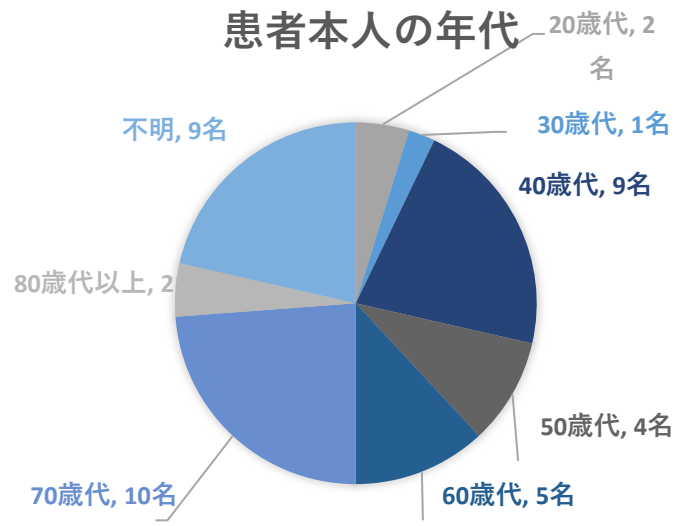
相談者のカテゴリー



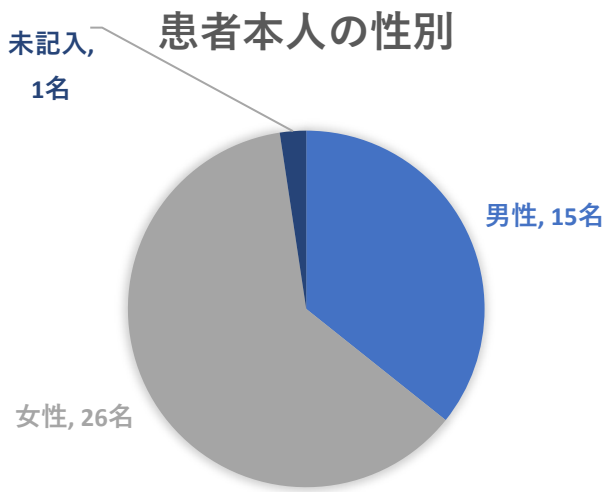
相談者の利用回数



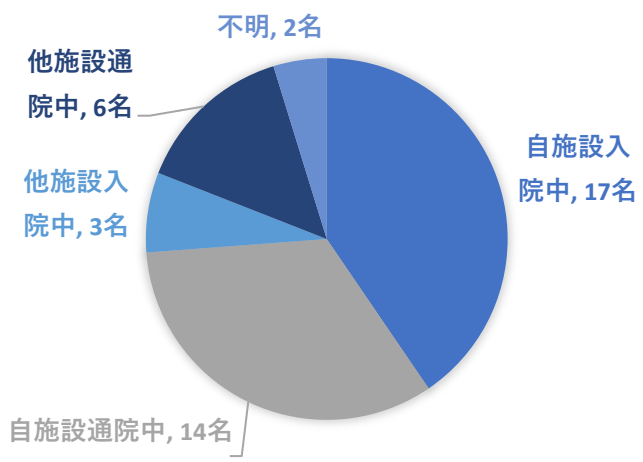
患者本人の年代

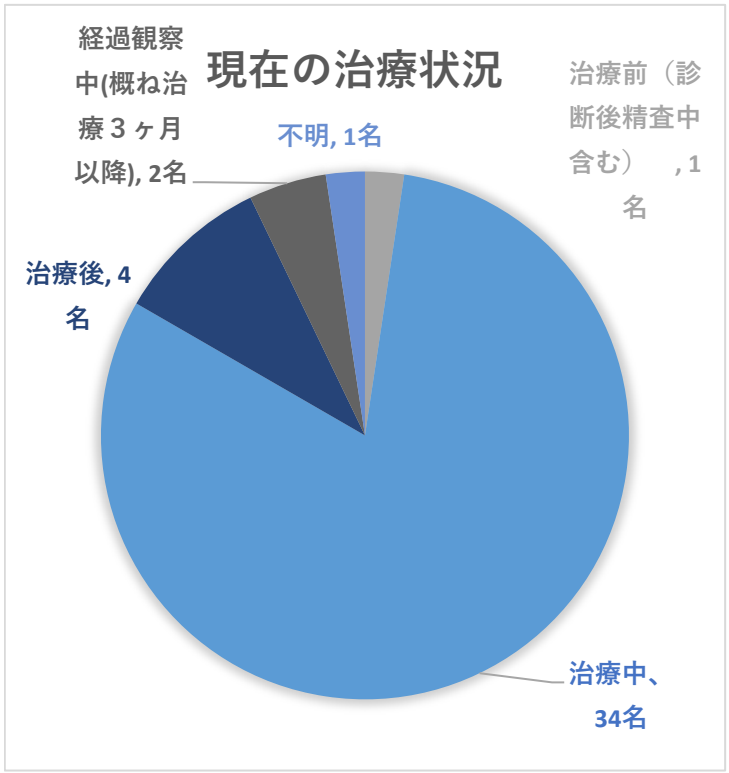


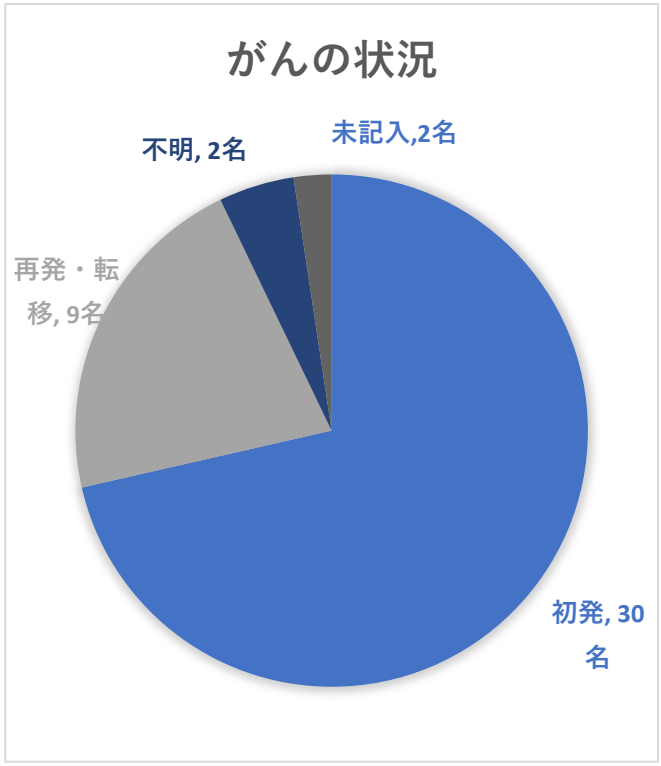
患者本人の性別



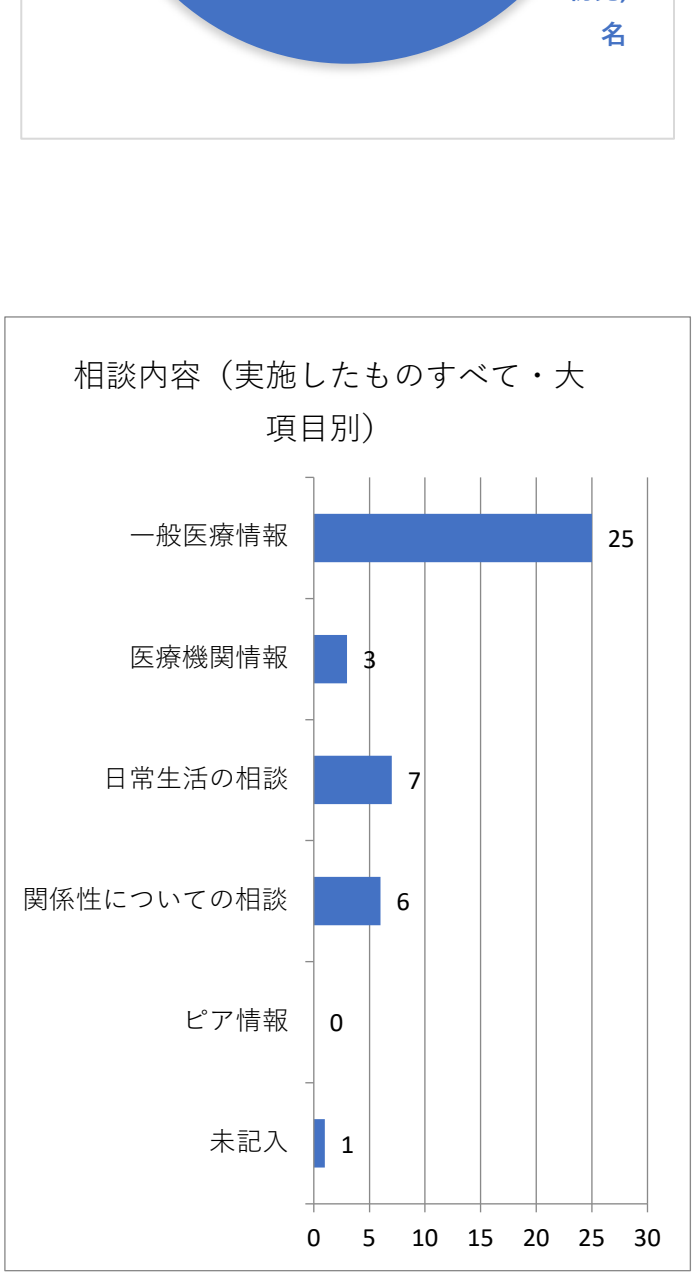
受診状況



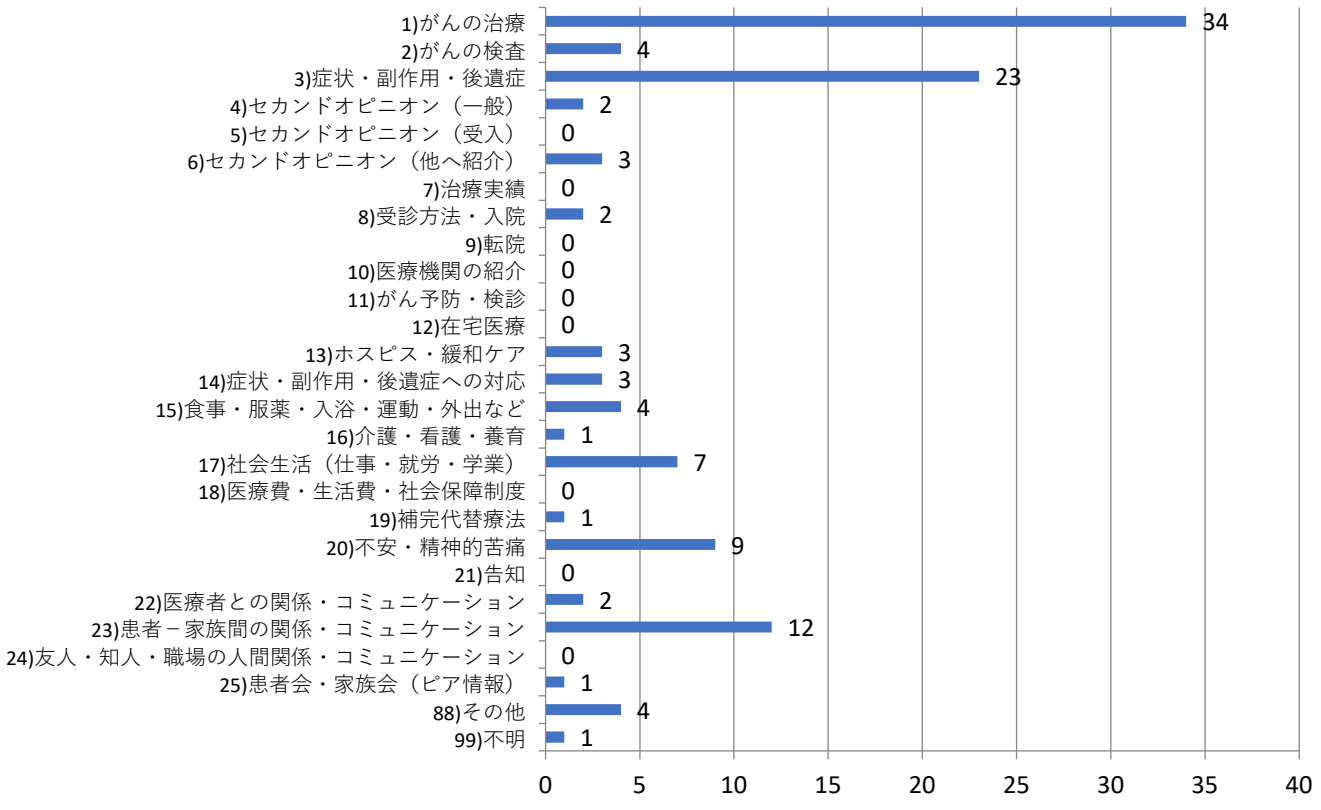

現在の治療状況
経過観察中(概ね治療３ヶ月以降), 2名
不明, 1名
治療前（診断後精査中含む）, 1名
治療後, 4名
治療中、34名

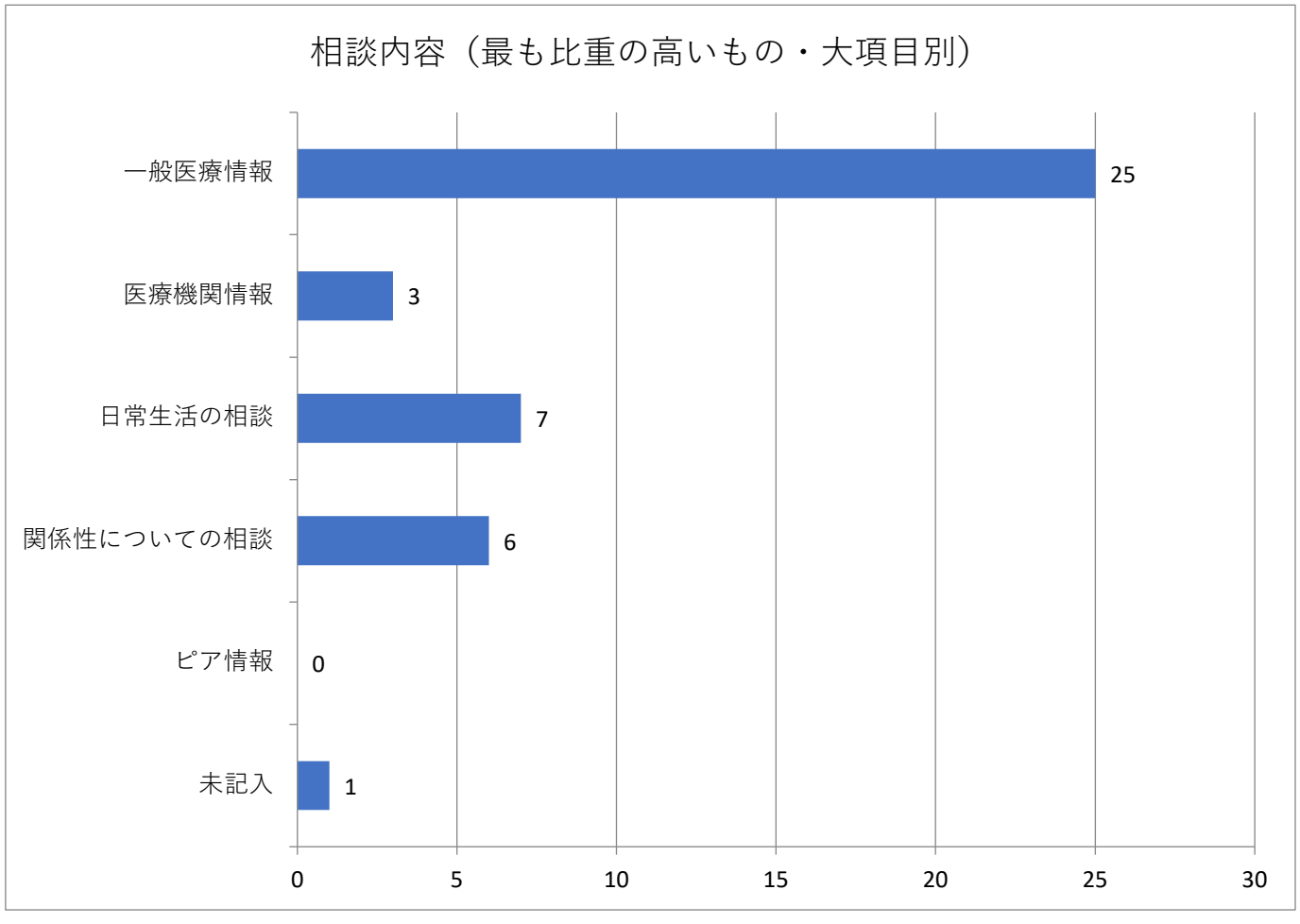

がんの状況
不明, 2名
未記入,2名
再発・転移, 9名
初発, 30名

がんの部位
眼・脳・神経 1
耳鼻咽喉 7
食道 2
胃 2
大腸・小腸 3
肝・胆 5
膵 3
肺・縦隔・心臓 6
乳房 7
子宮・卵巣 5
前立腺・精巣 1
腎・尿管・膀胱 2
甲状腺・副腎 0
リンパ・血液 3
骨 4
皮膚 1
中皮腫 0
肉腫・腹膜・後腹膜 1
原発不明 0
不明 2
0 2 4 6 8

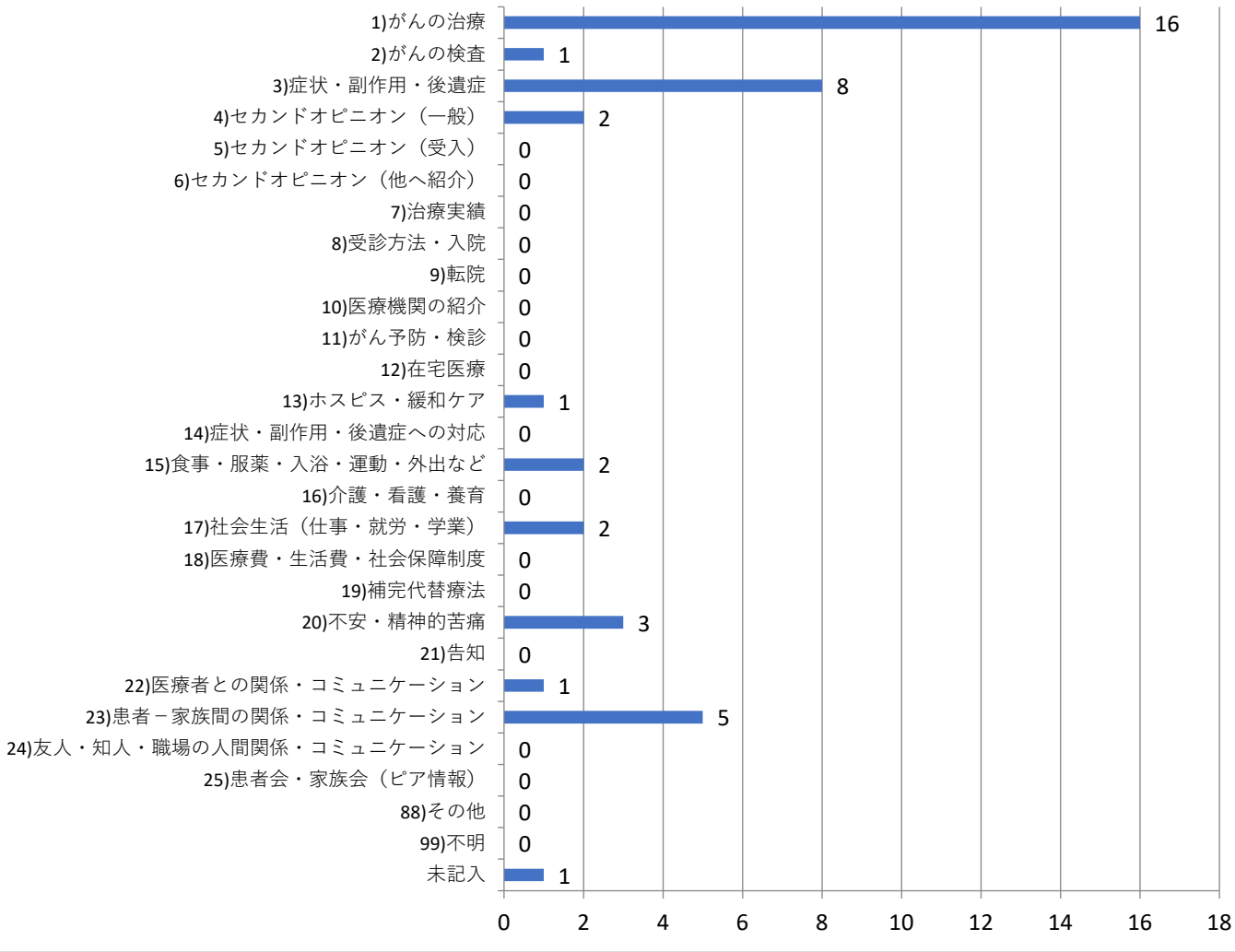

相談内容（実施したものすべて・大項目別）
一般医療情報 25
医療機関情報 3
日常生活の相談 7
関係性についての相談 6
ピア情報 0
未記入 1
0 5 10 15 20 25 30

相談内容（実施したものすべて）

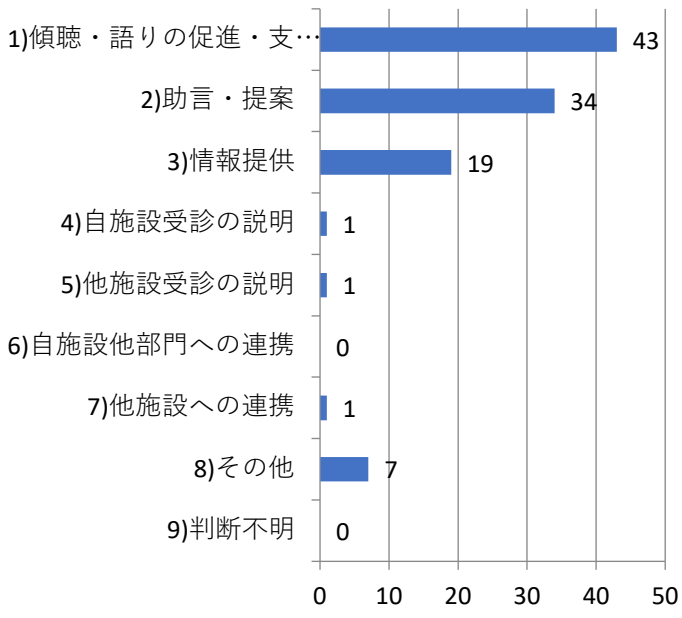




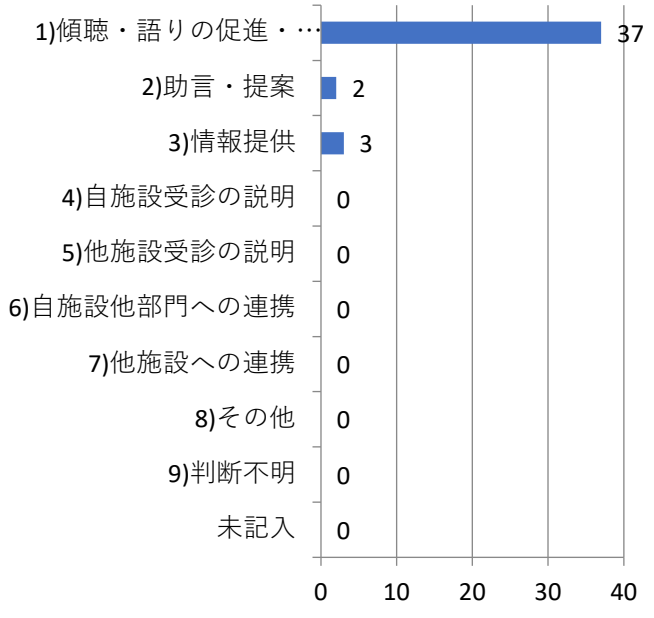
相談内容（最も比重の高いもの）

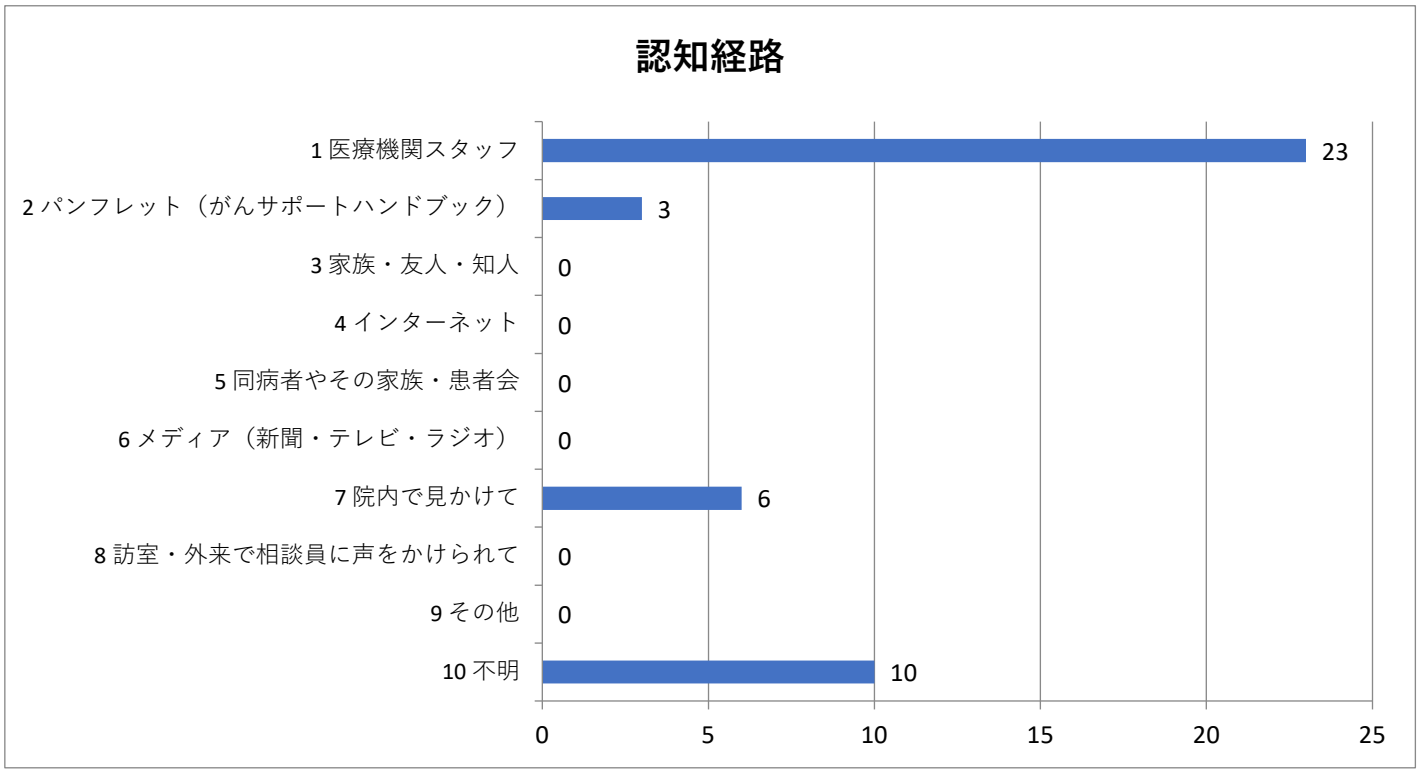


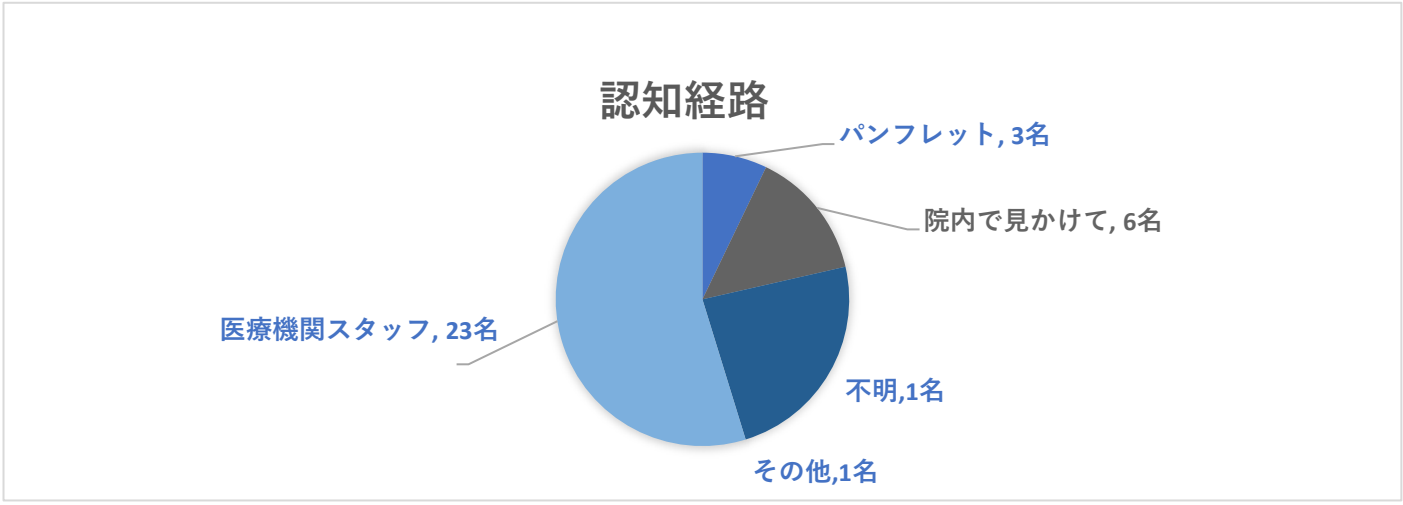
対応内容（実施したものすべて）



対応内容（最も比重の高いもの）




認知経路
1 医療機関スタッフ
2 パンフレット（がんサポートハンドブック）
3 家族・友人・知人
4 インターネット
5 同病者やその家族・患者会
6 メディア（新聞・テレビ・ラジオ）
7 院内で見かけて
8 訪室・外来で相談員に声をかけられて
9 その他
10 不明
23
3
0
0
0
0
6
0
0
10
0
5
10
15
20
25


認知経路
パンフレット, 3名
院内で見かけて, 6名
医療機関スタッフ, 23名
不明,1名
その他,1名

令和６年度　沖縄県委託事業

出張ピア・サポート

開催報告

実施日：(1)令和６年４月 26 日（木）14：00～16：30
(2)令和６年５月８日（水）14：00～16：00
(3)令和６年６月３日（水）14：00～16：00

【名　称】

出張ピア・サポート

沖縄県内のがん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内容はがん ピア・サポーター（がん経験者）によるがん個別相談とする。

【目　的】

1．がん患者や家族の不安軽減

当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

2．がん ピア・サポートの周知

当センターの普及活動とし、がん　ピア・サポート相談室の利用へつなげる。

3．がん　ピア・サポーターの活用

当センター主催のがん ピア・サポーター養成講座修了生である登録ピア・サポーターの活動の場所として提供する。

【概　要】

1．日　時　(1)令和 6 年 4 月 26 日（木）14：00～16：30
(2)令和 6 年 5 月 8 日（水）14：00～16：00
(3)令和 6 年 6 月 3 日（水）14：00～16：00
開始時間 14：00、14：30、15：00、15：30
全 4 回（各 30 分）
がん相談（当センター相談員または登録サポーターにて対応）
スタッフ（事務員 1 名）

2．場　所　(1)北部地区医師会病院
(2)県立中部病院
(3)県立宮古病院

3．対　象　がん患者、そのご家族、ご遺族など

4．主　催　沖縄県地域統括相談支援センター（令和 6 年度　沖縄県委託事業）

5. 共　催　　琉球大学病院がんセンター

6. 参加費　　参加・相談無料

7. 予　約　　予約優先・当日受付

【イベント当日の流れ】

13:00～13:40　会場設営
13:40～14:00　打ち合わせ
14:00～16:00　受付・相談会（各 30 分ずつ×4 回）
16:00～16:15　振り返り
16:15～17:00　片付け・退館

＊がん相談会の当日受付から運営まで当センター関係者にて行った。

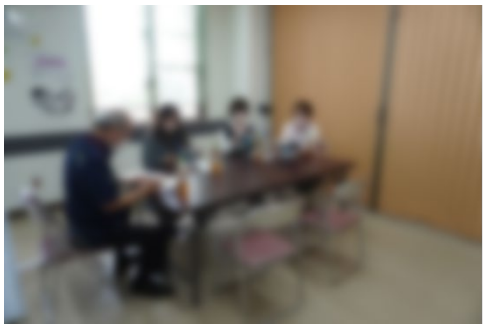
【北部地区医師会病院】

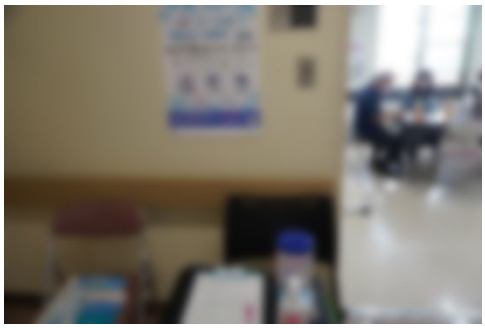
参加人数：2 組

統括相談員　3 名／登録ピア・サポーター　1 名／事務員　1 名

【振り返り】

・院内での広報をしていただき、直接予約システムからお申し込みが 1 組、もう 1 組は院内での声掛けで参加いただいた。
・県内のがん診療を行っている病院、患者会や役場等に広報を行ったが、実際には院内での声掛けが相談に繋がった。
・前回は別館での開催だったが、今回本館の会議室で開催。病棟からの患者さんも移動がスムーズで、開催場所に迷うことがないように感じた。
・チラシに掲載した同がん種の患者さんが話しを聞きにきており、がん種の公開は、参加してみたいと思っていただけたのではないか。
・登録サポーターも久しぶりのピア・サポート活動であったが、しっかりと傾聴し、自身の体験を語ることができていた。統括相談員とも北部での状況や患者会の活動などお互いに情報交換もできた。
・患者さんも 1 組あたり 1 時間たっぷりとお話ができ、治療のことから世間話もあり多岐にわたって色々なお話が出来ていた。
・30 分延長となったが、会議室も快く借用いただいた。
・患者サロンも開催していないとのことで、ぜひこのような機会を活用いただき、日頃の思いや悩みを打ち明け 1 組でも多くの患者さんに寄り添えたらと思う。





▲北部地区医師会病院

【県立中部病院／参加人数】

参加人数：1 組

統括相談員　2 名／事務員　1 名

【振り返り】

・今回も前回同様の場所にて開催。

・前回は 1 か所の入口のみの案内だったが、今回は本館からの 2 か所から行けるようにチラシと矢印を表示。外来にチラシを掲載し、当日参加が 1 組となった。

・院内の相談員からも声掛けを頑張っていただいたが、時間帯が合わないのか参加者は 1 組に留まる。

・相談者さんが悩んでいる事柄についてピア・サポーター含め付き添いの師長も一緒に考え寄り添うことができたのではないか。

・院内患者サロンでは多くの患者さん、そしてリピーターさんが多くいるような印象なので、個別がん相談会も知っていただけたら参加者が増えるのではないかと考ええる。

・広報の仕方をもう少し工夫し、患者さん 1 人ひとりに対応できるようにしたい。チラシ掲載の工夫も必要かもしれない。

・今回は統括相談員のみの対応となったが、早めの日程調整を行い登録サポーターの活動の場として機会を提供したい。登録サポーターの活動の場とするためにも広報に力を入れ、患者さんが参加しやすい雰囲気づくりをしたい。

▲県立中部病院

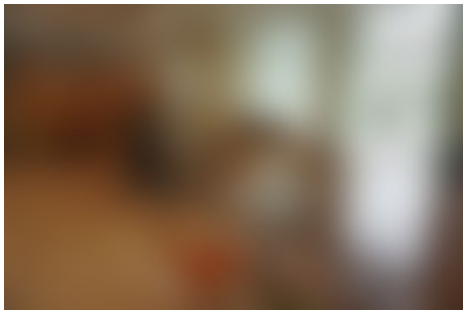
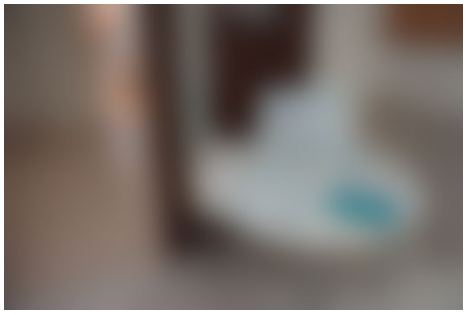
【県立宮古病院／参加人数】

参加人数：2 組

統括相談員　1 名／事務員　1 名

【振り返り】

・今回離島で初めて開催した県立宮古病院開催。
・院内でチラシを掲載させていただき、院内相談員の声掛けで 2 組参加があった。
・離島では住人の距離が近く、がん治療を行っていることを隠す傾向にあるそうで、患者サロンなど開催しても参加者がいないとのこと。
・今回もだが、本土出身の方が患者サロンなど利用する傾向にあるという。
・ピア・サポーターに不安や悩みを打ち明け、話を聞いてもらうことで、相談者さんも帰りには笑顔もあり良かった。
・当センター主催のオンラインゆんたく会も離島患者さんの交流の場として利用してもらえるよう広報した。
・宮古島の患者会のオストミー協会宮古支部の代表も挨拶に寄っていただいた。どのように活動しているか見学いただき、離島での患者会活動の現状について話しができた。
・がん患者やご家族の行き場のない気持ちや悩みを打ち明けられる場所として、離島ではより需要が高いように思う。
・どのように広報をしたら患者やご家族が参加しやすいイベントとなるか、宮古病院の相談員と相談しながら次年度も引き続き連携を取りながらイベント開催に向けて調整したい。

▲県立宮古病院

令和6年度　沖縄県委託事業

沖縄県地域統括相談支援センター
事業評価会議

開催報告

実施日：第１回　令和６年５月 10 日（金）

令和６年度　第１回　沖縄県地域統括相談支援センター 事業評価会議

日　時　　令和 6 年 5 月 10 日（金） 9：10～10：10
場　所　　がんセンター
出席者　　天野 慎介さん（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長）
　　増田 昌人（沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長）
　　喜瀬　杏妃（沖縄県地域統括相談支援センター　事務補佐員）

【報告】

1.　令和５年度　第４回　事業評価会議　議事要旨　（資料 1）

【議 題】

1.　がん ピア・サロンについて　（資料 2）
2.　がん ピア・サポーターフォローアップ研修会について　（資料 3）
3.　相談予約システム導入について　（資料なし）
4.　がん患者会連絡方法について　（資料なし）
5.　その他

【報告】

1.　センター事業計画　（資料 4）
2.　相談件数統計　（資料 5）
3.　がん患者会意見交換会　報告書　（資料 6）
4.　がん ピア・サポーター養成講座　報告書　（資料 7）
5.　その他

【報告・協議事項】

1. 令和５年度　第４回　事業評価会議　議事要旨
事務補佐員喜瀬より前回の議事要旨を報告した。

2. がん　ピア・サロンについて
前年度の進捗会議にて県から要望があった、アピアランスケアをテーマとしたがんピア・サロンについて議題とし、前年度のアピアランスケアをテーマとしたリレー・フォー・ライフでのがんピア・サロンのプログラムを基に協議した。対象者をがん患者さんとそのご家族をするのであれば、病院で開催してみてはとご意見をいただく。琉大病院や那覇市立病院などを検討することとする。

3. がん　ピア・サポーターフォローアップ研修会について

前年度同様にピア・サポーターフォローアップ研修会については支え合う会「α」野田さんの指示に従って開催することになる。千葉県での登録サポーターの取り扱いを参考に受講者対象についても検討することとする。早めに内容を固めてピア・サポーター養成ワーキングのグループ長の秋月先生をお招きできるように日程調整を行う。

4. 相談予約システムについて
ネット相談予約システム導入を検討している旨を報告。導入後どのように進めたらいいかなど改めて相談することにした。

5. がん患者会連絡方法について
前回のがん患者会意見交換会後提案が上がった、LINE 等でのグループ作成について難航していることを報告。LINE が難しければメーリングリスト方式にすることを検討。ぴあナース上原さんに連絡方法について相談してみることにする。上原さんが発足したがん患者会連絡会に運用はお願いしたい旨センター長よりお話していただけることになった。

6. その他
他報告事項は書面にて報告とした。

令和６年度　沖縄県委託事業

相談員ミーティング

開催報告

実施日：第１回　令和６年４月３日（水）

令和6年度　第1回　沖縄県地域統括相談支援センター　相談員ミーティング

日　時　　令和６年４月３日（水）　16：00～17：00
形　式　　オンライン
出席者　　増田　昌人（琉球大学病院　がんセンター長）
　　西村　克敏（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　上地　久美子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　金城　敦子（沖縄県地域統括相談支援センター　相談員）
　　喜瀬　杏妃（沖縄県地域統括相談支援センター　事務補佐員）

【報告】
1. 令和５年度　第２回　相談員ミーティング　議事要旨　（資料１）
2. 令和５年度　年間事業計画　（資料２）
3. その他

【議 題】
1. 令和６年度 年間事業計画について　（資料３）
2. 今後の活動表（案）について　（資料４）
3. がん　ピア・サポーターフォローアップ研修会について　（資料５）
4. その他

【報　告】
1. 令和5年度　第2回　相談員ミーティングの議事要旨
前回の議事要旨を紙面報告した。

2. 令和5年度　年間事業計画
前年度ご協力いただいた事業内容等確認の上、ピア・サポーターへ報告を行った。

3. その他
令和6年度はピアサポーターみなさんで活動したいことなど意見を出し合って計画し進めていきたいと話があったが、全員が揃うということが難しく実現できていない現状を話あう。今年度の一度計画した予定を決める前にみなさんでどのような方向で進めたいか都度話し合うことで進めることになる。

【議題】
4. 令和6年度　センター事業計画
今年度の計画内容を確認。前年度に無かったもので、今年度追加となったものを検討した。今年度は出張ピア・サポートを離島へ出向くこと。また、がんピア・サロンとのことで「アピアランスケア」をテーマとしたイベント開催が追加となった。相談員ミーティングについても、候補日を挙げてもらい2ヶ月毎開催に向けて調整する運びとなる。

5. 今後の活動表（案）について
前回の相談員ミーティング後に、石川県訪問見学に参加した事務員喜瀬とピア・サポーター仲田さんより、より詳細を追記した活動表を提示した。今年度のピア・サポート活動沖縄県ではどのように進めていくか話あう。全員で共有していないので、共有後より具体化して活動することとなる。

6. がん　ピア・サポーターフォローアップ研修会について
前年度のフォローアップ研修会を資料として、今年度のフォローアップ研修会について意見を聞く。ピア・サポーター中山さんより臨床倫理士の金城先生にお話して欲しいと希望があったが、ピア・サポーターとしての講演ができるのかどうか検討が必要。事務員喜瀬より、登録サポーターの活動の場ということで模擬患者サロンのようなグループセッションについてはどうかと意見があがる。1回ロールプレイと1回患者サロン形式で進めていく提案を野田さんに相談することとする。講師の先生は野田さんと研修ワーキングのグループ長の秋月先生に依頼することになる。

7. その他
これまではがん　ピア・サポーターフォローアップ研修会後の交流会を話あった。ワールドカフェをしたいとのことで最低でも1時間半必要とのことで、別日で設ける運びとなる。交流会はリレー・フォー・ライフで行うことをピア・サポーター西村さんより提案いただく。日程場所が分かれば、部屋の確保をすることをする。

小児家族のピア・サポート体制を強化の目的に、子どもたちの写真展をやってみたいピア・サポーター金城さんより意見いただく。病棟での様子や、作品の展示などピア・サポーターとして小児家族のサポート出来たらいい。一緒にものを作りながら、お話をすることでスッキリする経験があるとのことで、お部屋を借用できるか看護部へ相談してみることにする。